

# SGH 国際会議～Town for Life～

2019年9月21日(土)

9月21日(土)に学校説明会と並行して開催されたSGH国際会議では、「Town for Life」「住み続けられる泉北ニュータウン」をテーマに海外研修に参加した生徒たち、海外のバックグラウンドを持つ大学生、地域の再生をテーマに研究している生徒たちや大学生、大阪府立佐野高等学校より5名のユネスコ部のメンバー、有識者などが一同に会して、どのようにすれば泉北ニュータウンを活性化させることができるかを話し合いました。

第1部では、海外研修に参加した生徒たち(バンクーバー、シドニー、ボルネオ、北欧)が研修中にミッションとして取り組んでいた、SDGsの目標No.11をそれぞれの街で発見するというものを発表しました。それぞれ日本語と英語で発表し、各国の先進的な取り組み(インクルーシブな街づくり)について自らの目で体感したことを参加者に伝えました。

続いて、グローバル課題研究Iを受講しているグループの中に泉北ニュータウンの活性化について研究している班が、泉北ニュータウンの現状や、様々なアプローチで活性化の糸口を発表しました。

第2部では、バラバラに班分けされたメンバーで、**Big Picture**「何をすれば住み続けられる街にできるか」を考え、その後、**Small Step**「自分たちには何ができるか」をポスターにして発表しました。

それぞれの班が、全く違う価値観やアイデアを出し、中には非常に斬新なアイデアもありました。

学校説明会ということもあり、多くの中学生や保護者の方にも見学に来ていただきました。未来の泉北生にもこの取組を知ってもらえる良い機会にもなりました。

また、オブザーバーとして、堺市の職員の方、AIやIT部門での経験のある社会人の方、地域の自治会を統括されている方、堺市社会福祉協議会の方などが会議を第三者の目線でしっかりと見ていただき、最後には「実践的かつユニークで柔軟なアイデア」「もっと研ぎ澄ませるためのヒント」「自分の自治会や地域に活用できるか」などとても参考になるフィードバックをいただきました。これから先につながる国際会議の走り出しとなりました。これより更なるつながりを広げ、より多くの地域の皆さんが住み続けられる街づくりのために議論できるよう、地域のプラットフォームとして本校が存在できるようにしていきたいと思えます。

